

# コミュニティ・スクールだより

～ 目指す子ども像 『自信をもち自分の力を発揮する子』 ～

## 読書のまち岳洋学舎に！ 子どもたちの読書環境づくり

こんにちは。岳洋学舎の学校運営協議会です。皆さんは子どものころに読んだ一冊の本を覚えていますか？ページをめくるたびに広がる世界。知らない言葉、初めての感情。本は、子どもたちの心にそっと寄り添い、未来へのとびらを開いてくれます。今、私たちができることは、そんな「本との出会い」をもっと身近にすること。学校だけでなく、家庭や地域の力を合わせて、読書のある日常を育てていきましょう。

読み聞かせ、図書館ボランティア、家庭での読書タイム。どれも、子どもの心に残る贈り物になります。一緒に読書のあるまちをつくりませんか？

○寝る前の10分間だけ、本を読む時間をつくってみる。

○学校や地域の読み聞かせ活動に参加してみる。

○図書館ボランティアに参加してみる。

こんなご協力をお願いできたらうれしいです。

読書は、子どもたちの未来へのプレゼント。

地域みんなで、そんな素敵な環境を育てていけたらと思っています。

昼休みの読み聞かせ（小笠北小）



# 地域の皆さまによる 本との出会いと心を育む場づくり

## ◎読み聞かせ活動

地域の皆さまが学校に訪れ、朝の時間や昼休みに本の読み聞かせを行っています。子どもたちは、読書の楽しさを知り、地域の人との交流も生まれています。



読み聞かせ図書館ボランティア「ぐりとぐら」の皆さん(小笠南小)

旧小笠町は、「読書のまち」と呼ばれていたんですよ。(赤堀さん)

## ◎学校図書館の環境づくり

地域の皆さまが、月2回来校する学校司書さんと一緒に、図書館が行きたくなる場にしたいと工夫しています。(新刊本の紹介や本の整理・並び替えなど)



読み聞かせ  
(岳洋中 年間6回)

学校司書と図書館ボランティアの皆さん(岳洋中)

## ☆本を通じて、子どもたちと地域がつながる場を一緒に作りませんか。

読み聞かせ活動は、子どもたちの笑顔を引き出すとともに、ボランティアをする自分自身にとって『やりがい』を生むという大きな効果があります。「できるときに参加してみようかな」という思いをお持ちの方は、学校運営協議会委員や学舎事務局にぜひ声を掛けていただけると嬉しいです。

(文 大石)

窓口は(小笠東小区) 渡邊朗由さん、黒田晃さん、牧野亜利香さん(小笠北小区) 桐岡薫さん、塚本隆男さん、井上あゆみさん、稲垣将矢さん(小笠南小区) 江川正徳さん、赤堀恵子さん、佐塚隆雄さん、松下知生さん、松下浩昭さん、みなみこども園長・落合さんの学校運営協議会委員。  
(そのほかに) 岳洋学舎事務局・大石 岳洋中☎代73-2400 や学校教育課☎73-1113 です。